

第1学年（10時間）

*時数は生活科や国語など各教科と関連させてとる事とする

指導内容	時数	指導上の留意点	つきたい力	情報教育との関連
1. パソコンの基本操作 パソコンの起動・終了の仕方 マウスの使い方（右・左クリックなど）	1	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンの起動・終了の仕方については、全児童が確実にできるように指導を徹底する。 ・マウスの使い方については、シングルクリックとダブルクリックがある。また、左右のボタンの使用方法についてもふれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンの基本操作 ・パソコンの正しい使い方 	視聴覚機器・パソコンの利用
2. お絵かきソフトを使ってみよう 起動の仕方・終了の仕方 機能紹介（スタンプ等） 各種機能で自由に実際に遊んでみる	3	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクターに投影しながら説明をする。 ・スタンプ等、色の使い方など自由に体験することによって気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マウスの使い方 ・お絵かきソフトの使い方 	視聴覚機器・パソコンの利用
3. 作品を作ろう 絵を描く できた作品を印刷する お互いの作品の良さを話し合う	5	<ul style="list-style-type: none"> ・作品づくりにあたっては、教科や生活科と絡めた課題を設定すると良い。 ・印刷、保存は、基本的には教師が行うが、できる児童については児童自身が行っても良い。 ・複数印刷し、紙芝居等を作ることも可能。 ・デジカメの写真を読み込むことも可能。 (教師があらかじめ撮っておいた写真を利用することも可能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が表現したいことをパソコンで表すことができる 	視聴覚機器・パソコンの利用 適切な情報手段の活用
4. パソコンのマナーについて知ろう 自分の名前や住所、電話番号などを他人に安易に教えてはいけないことを知る	1	<ul style="list-style-type: none"> ・マナー指導にはガイドラインを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分についての情報を大切にすることを知る。 	個人情報の保護

第2学年（10時間）

*時数は生活科や国語など各教科と関連させてとる事とする

指導内容	時数	指導上の留意点	つきたい力	情報教育との関連
1. パソコンの基本操作 パソコンの起動・終了の仕方の復習	1	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンの起動・終了の仕方については、全児童が確実にできるように指導を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンの基本操作 	視聴覚機器・パソコンの利用
2. 絵や作品を保存しよう 静止画（デジカメ）、絵、作品の作成 絵や作品の保存の仕方 保存した絵の読み込み方	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイルの保存の仕方については、全児童が確実にできるように指導を徹底する。 ・ネットワークを利用して保存する。 ・予め児童数分のフォルダをハードディスク内に作っておく。 ・ファイル名については、出席番号等2年生でも分かりやすいもので対応する。 ・デジカメの写真を読み込むことも可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイルの保存、読み込み ・ネットワーク上のパソコンに保存する良さに気づく。 	視聴覚機器・パソコンの利用
3. 作品を印刷しよう 絵や作品を作る できた作品を保存する 保存した作品を印刷する 展示し、お互いの作品の良さにふれる	5	<ul style="list-style-type: none"> ・作品作りにあたっては、教科や生活科と関連させた課題を設定すると良い。（例、思い出のアルバム、絵日記など） ・ネットワークプリンターを使って印刷する。 ・全員が確実に印刷できるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の印刷 	視聴覚機器・パソコンの利用 適切な情報手段の活用
4. パソコンのマナーについて知ろう 自分や家族、友達の名前や住所、電話番号などを他人に安易に教えてはいけないことを知る 他人が作ったものを勝手に自分のものにして使ったりしてはいけないことを知る 他の人の顔や姿の写真を勝手に使ってはいけないことを知る	1	<ul style="list-style-type: none"> ・マナー指導には、ガイドラインを利用する。 ・個人情報を安易に教えてしまうことで起こる危険について、事例を挙げて指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分についての情報を大切にすることと同じように、他の人の情報も大切にすることを知る。 	個人情報の保護 著作物等の利用のルール

第3学年（10時間）

* 時数は総合的な学習の時間や各教科と関連させてとる事とする

指導内容	時数	指導上の留意点	つきたい力	情報教育との関連
1. パソコンの基本操作 パソコンの起動・終了の仕方の復習	1	・パソコンの起動・終了の仕方については、全児童が確実にできるように指導を徹底する。	・パソコンの基本操作	視聴覚機器・パソコンの利用
2. プレゼンを作ってみよう プレゼンを複数枚作って保存する スライドショーで発表する	6	・プレゼンソフトの基本的操作を知り、活用する。 （例えば、お話をつなげたり写真を何枚か取り込んでスライドショーで紹介したりすることも可能） ・予め児童数分のフォルダをハードディスク内に作成しておく。	・視覚効果による表現の違いが分かる ・表現方法の手段を選択できる （PCも視野に入れた表現手段）	視聴覚機器・パソコンの利用 適切な情報手段の活用 発信・伝達（伝える）
3. Webページの情報を見よう 児童用の検索ページからたどってページを開く 必要なページだけを印刷する	2	・インターネット上には、様々な情報があることに気づかせる。 ・学習に役立つページを具体的に紹介する。 ・リンク集を利用して、学習に役立てることに気付かせる。	・ネットワーク上に発信された情報を集める	視聴覚機器・パソコンの利用 適切な情報手段の活用 情報の収集（調べる）
4. パソコンのマナーについて知ろう 個人情報にはどのようなものがあるか理解し、安易に教えてはいけないことを知る コンピュータやネット上で使うID・パスワードは重要なものなので、安易に他人に教えないことを知る 他人が作ったものを勝手に自分のものにして使ったりしてはいけないことを知る。 他の人の顔や姿の写真を勝手に使ってはいけないことを知る	1	・マナー指導には、ガイドラインを利用する。 ・個人情報を安易に教えてしまうことで起こる困ったことの事例について確かめられるとよい。 ・インターネットの指導と絡めて、ネット上には不特定多数の利用者がいること、ネット上で個人情報を安易に教えることの危険性についても指導する。 ・他の人が作ったものや他の人の写真を勝手に扱ってはいけないことについても、事例をあげて指導する。	・個人情報について知る。 ・ID、パスワードの重要性	個人情報の保護 著作物等の利用のルール コンピュータセキュリティの知識

第4学年（10時間）

* 時数は総合的な学習の時間や各教科と関連させてとる事とする

指導内容	時数	指導上の留意点	つきたい力	情報教育との関連
1. ワープロソフトを使ってみよう ローマ字入力の仕方 カード，作文，日記等を作る 保存と印刷	4	<ul style="list-style-type: none"> ローマ字入力をキーボード練習ゲーム等で練習する。 ローマ字入力でカード，作文，日記等各教科と関連させた課題を設定する。 予め児童数分のフォルダをハードディスク内に作成しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字入力の仕方 パソコンを用いたまとめ方 パソコンによる校正の仕方 	視聴覚機器・パソコンの利用 適切な情報手段の活用
2. メール，FAX，電話，録音機等の利用 メールを用いて情報を収集する FAX，電話等による収集手段の方法を知る	1	<ul style="list-style-type: none"> メール，FAX，電話等の情報収集手段があることを理解し，必要な手段を状況に応じて選択できるように指導する。 教科・総合的な学習の時間と関連させて行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的を考え、情報収集手段を選択する 	適切な情報手段の活用 情報の収集（調べる）
3. アンケートからグラフを作ってみよう アンケートを作る アンケートの結果からグラフを作る。 グラフから分かったことをまとめ，データを保存または印刷する	3	<ul style="list-style-type: none"> 各教科・総合的な学習等と関連させアンケートを作成する。（他校や他学年との交流を図ることも可能） 国語科のアンケート調査の単元と関連させアンケートの利用の仕方を指導する。 アンケート結果をグラフで表す事の視覚的な効果に気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 視覚効果による表現の違いが分かる 表現方法の手段を選択できる 	視聴覚機器・パソコンの利用 適切な情報手段の活用 発信・伝達（伝える）
4. パソコンのマナーや情報モラルについて知る 情報を得たり送ったりするときには，コンピュータ上のコミュニケーションであっても相手の気持ちを思いやることできる 著作権の存在を知り，身の回りにある著作物について認識する ネットワークの仕組みを知り，情報を共有化することについて理解する。	2	<ul style="list-style-type: none"> マナー指導にはガイドラインを利用する。 ネットワーク上の相手に対して思いやりを持って接する姿勢を養うことができるように道徳の学習においても扱う。 コンピュータ上にあるものは現実を反映していない場合があることについて理解させる。 得た情報を学習で扱う場合には，その出所を明らかにするように指導する。 インターネットやメールをしていて困ったときは先生や保護者に相談するよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク上でのマナー 著作権について知る ネットワークの仕組みについて知る 	コミュニケーションにおけるルールとマナー インターネットの特性をふまえたコミュニケーション 著作物等の利用と法の遵守 コンピュータセキュリティの知識

第5学年（10時間）

* 時数は総合的な学習の時間や各教科と関連させてとる事とする

指導内容	時数	指導上の留意点	つきたい力	情報教育との関連
1. 効果的な検索方法 いろいろな検索ページで情報の収集を行う 検索方法の違いの理解	2	<ul style="list-style-type: none"> 各種検索エンジンがあることを理解させる。 検索の際の語句の入力の仕方、複合検索の仕方について指導する。 検索の仕方によって必要な情報が得られることを実感させると共に、情報の出どころを意識し、情報の質を吟味させる。 教科・総合的な学習の時間と関連させて行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的を考え、情報を選択して集める 各種検索エンジンの特徴の理解と活用 自分の必要とする情報の収集 情報の質の吟味 	視聴覚機器・パソコンの利用 適切な情報手段の活用 情報の収集（調べる）
2. メール、FAX、電話、録音機、チャット、 テレビ会議等の利用 メール、FAX、電話、録音機、チャット、 テレビ会議等を用いて情報を収集する 収集手段の方法を知る	2	<ul style="list-style-type: none"> 多様な情報収集手段があることを理解し、必要な手段を状況に応じて選択できるように指導する。 教科・総合的な学習の時間と関連させて行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的を考え、情報収集手段を選択する 情報を収集するための相手先を考える。 	適切な情報手段の活用 情報の収集（調べる）
3. 調べたことを色々な方法でまとめる プレゼンや新聞、動画等を選択して作成する 必要な図・写真をインターネット上、ネット ワーク上のフォルダからコピーする 保存・印刷、伝達	4	<ul style="list-style-type: none"> インターネット上の資料やネットワーク上のフォルダから写真、資料をコピーする方法を指導する。 各教科・総合的な学習の時間と関連させて行うと良い まとめたことは内容に応じて校内・校外に伝達する。 	<ul style="list-style-type: none"> パソコンを用いたまとめ方を工夫する 校正の仕方 	視聴覚機器・パソコンの利用 適切な情報手段の活用 発信・伝達（伝える）
4. パソコンのマナーや情報モラルについて知る 情報を得たり送ったりするときには、コンピ ュータ上のコミュニケーションであっても 相手の気持ちを思いやることができる 著作物の扱いについて 肖像権について インターネット上での危険について	2	<ul style="list-style-type: none"> マナー指導にはガイドラインを利用する。 ネットワーク上の相手に対して思いやりを持って接する姿勢を養うことができるように道徳の学習においても扱う。 短い文によるコミュニケーションは、お互いの意志が正しく伝わらない場合もあることを理解させる。 他者の著作物を扱うときには許諾を得るなどのルールがあることを理解させる。 他人の写真を撮るときや使うときのルールを理解させる。 コンピュータウィルスの危険性について指導し、不用意にWebページを閲覧したりファイルを開いたりしないように指導する。 インターネット上には詐欺などの犯罪や有害なWebページがあることを知らせ、安易にアクセスしないように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク上でのマナー 著作物を扱う際のマナー 肖像権について知る。 インターネット上の危険について知る。 	コミュニケーションにおけるルールとマナー インターネットの特性をふまえたコミュニケーション 著作物等の利用と法の遵守 コンピュータセキュリティの知識 情報化が及ぼす暮らしへの影響

第6学年（10時間）

*時数は総合的な学習の時間や各教科と関連させてとる事とする

指導内容	時数	指導上の留意点	つきたい力	情報教育との関連
1. 効果的な検索方法 いろいろな検索ページで情報の収集を行う 検索方法の違いの理解	2	<ul style="list-style-type: none"> 検索の際の語句の入力の仕方、複合検索の仕方について指導する。 検索の仕方によって必要な情報が得られることを実感させると共に、情報の出どころを意識し、情報の質を吟味させる。 教科・総合的な学習の時間と関連させて行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的を考え、情報を選択して集める 各種検索エンジンの特徴の理解と活用 自分の必要とする情報の収集 情報の質の吟味 	視聴覚機器・パソコンの利用 適切な情報手段の活用 情報の収集（調べる）
2. メール、FAX、電話、録音機、チャット、 テレビ会議等の複合的な利用 メール、FAX、電話、録音機、チャット、 テレビ会議等を用いて情報を収集する 収集手段の方法を知る	2	<ul style="list-style-type: none"> 多様な情報収集手段があることを理解し、必要な手段を状況に応じて選択できるように指導する。 教科・総合的な学習の時間と関連させて行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的を考え、情報収集手段を選択する 自分の必要とする情報を収集するための相手先を考える。 	適切な情報手段の活用 情報の収集（調べる）
3. 調べたことを色々な方法でまとめ、発信する プレゼン、新聞、動画等を選択して作成する 保存・印刷・発信	4	<ul style="list-style-type: none"> インターネット上の資料やネットワーク上のフォルダから写真、資料をコピーする方法を指導する。 各教科・総合的な学習の時間と関連させて行うと良い。 まとめたことは内容に応じて校内、校外に発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> パソコンを用いたまとめ方を工夫する パソコンによる校正の仕方 	視聴覚機器・パソコンの利用 適切な情報手段の活用 発信・伝達（伝える）
4. パソコンのマナーや情報モラルについて知る 情報を発信するときは、正しい内容を伝える とともに、虚偽の情報や犯罪につながる内容を 発信しないことの大切さを知る。 著作物の扱いについて 肖像権について インターネット上での危険について	2	<ul style="list-style-type: none"> マナー指導にはガイドラインを利用する。 インターネット上のコミュニケーションは、不特定多数の人に公開される場合もあることを知らせる。 他者の著作物を扱うときには許諾を得るなどのルールがあることを確かめる。 他の人の写真を撮るときや使うときにはルールがあることを確かめる。 不特定多数の人に個人情報を知られることによって、危険な目にあったり、人に迷惑をかけたりにすることについて理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク上でのマナー 著作物を扱う際のマナー 肖像権について知る。 インターネット上の危険について知る。 	コミュニケーションにおけるルールとマナー インターネットの特性をふまえたコミュニケーション 著作物等の利用と法の遵守 個人情報の保護